

2024年6月期 Q1 決算説明補足資料



(東証プライム 6036 JT)

2023年11月10日

目次

1. 業績ハイライト
2. 2024年6月期 Q1（2023年7月～2023年9月）実績
3. 販管費推移と内訳
4. 営業利益の増減益要因分析
5. トピックⅠ：LABO新店とコーティングブース増設、洗い場改装
トピックⅡ：ESG

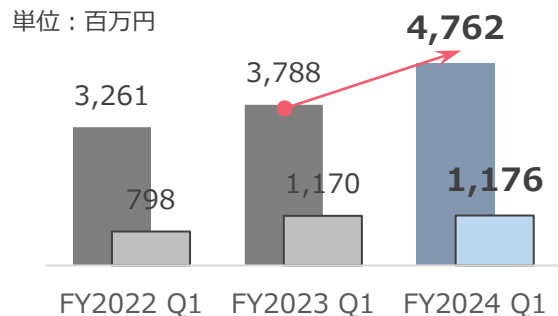
Q1 実績

売上高
営業利益

47.6億円 +25.6% YoY
11.7億円 +0.5% YoY

» Q1実績の状況

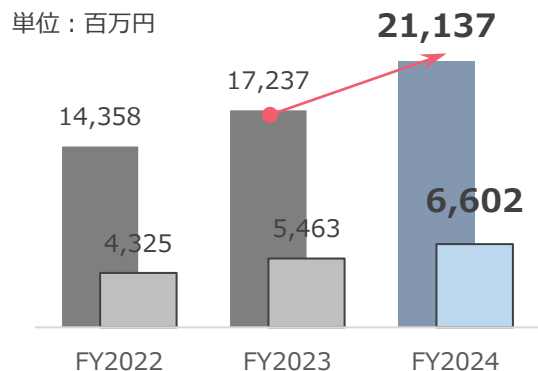
■ 売上高 ■ 営業利益



- 売上高は、+25.6% YoYの増収。
- 販管費が人件費を中心に+39.0% YoYとなり、営業利益は+0.5% YoYで着地。
- 社内計画比では、売上インライン (LABO ↓、製品等 ↑) 営業利益が若干の下ブレ。BM社の風評被害によるLABOの一時的な売上減少と、販管費増が要因。
- LABOは新規に2店舗をオープン。

» 会社計画の状況

■ 売上高 ■ 営業利益



- 通期会社計画に対し、Q1として売上22.5%、営業利益17.8%の進捗率。季節性を考慮すると、例年どおりの進捗。
※当社業績の季節性については、P.12を参照
- LABOの新規出店計画は15店舗から変更なし。

2023年7月-9月 会社ハイライト

2023年8月9日

- ▶ 東京都内15店舗目となる「府中店」オープン (直営107店舗目)



2023年8月10日

- ▶ 取締役会にて2023年6月期の増配を決議

2023年9月1日

- ▶ 洗車の値上げを実施



2023年9月5日

- ▶ KeePer公式ECサイトオープン

2023年9月27日

- ▶ 第31回定時株主総会開催

2023年9月29日

- ▶ 大阪府内6店舗目となる「平野店」オープン (直営108店舗目)



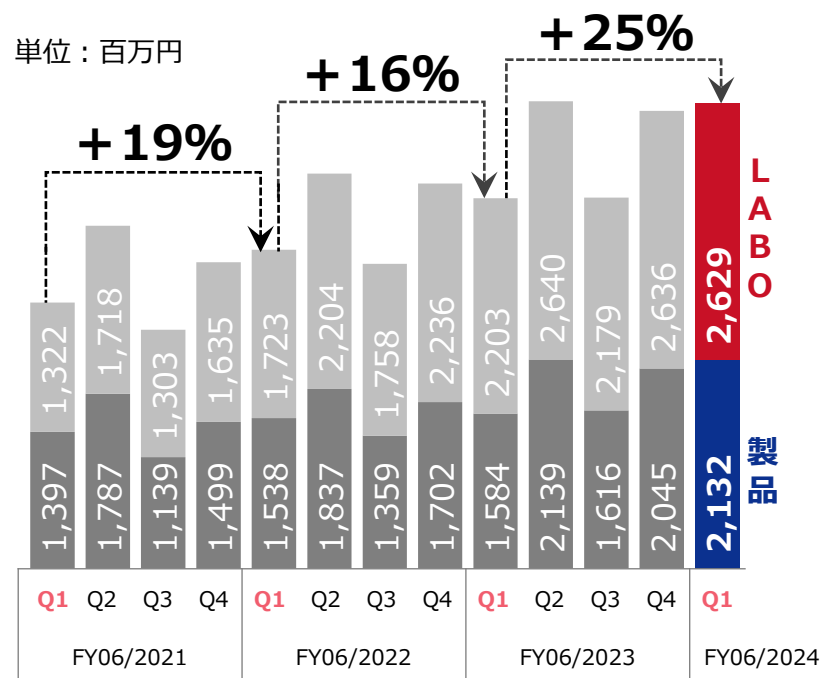
損益計算書

単位：百万円	Q1 FY06/2023 実績	Q1 FY06/2024 実績	YoY	FY2024 会社計画	会社計画 達成率
売上高	3,788	4,762	+25.6%	21,137	22.5%
—製品関連	1,584	2,132	+32.1%	9,355	22.8%
—LABO運営	2,203	2,629	+19.7%	11,781	22.3%
売上総利益	3,113	3,879	+24.6%	17,339	22.3%
販管費	1,943	2,703	+39.0%	10,737	25.1%
営業利益(OP)	1,170	1,176	+0.5%	6,602	17.8%
—製品関連	582	714	+22.7%	—	—
—LABO運営	588	461	-21.4%	—	—
経常利益	1,180	1,181	+0.1%	6,602	17.8%
純利益	807	798	-1.0%	4,595	17.3%
売上総利益率	82.1%	81.4%	-0.7 pt	82.0%	—
営業利益率	30.8%	24.7%	-6.1 pt	31.2%	—
EPS	29.5円	29.2円	-0.3円	—	—

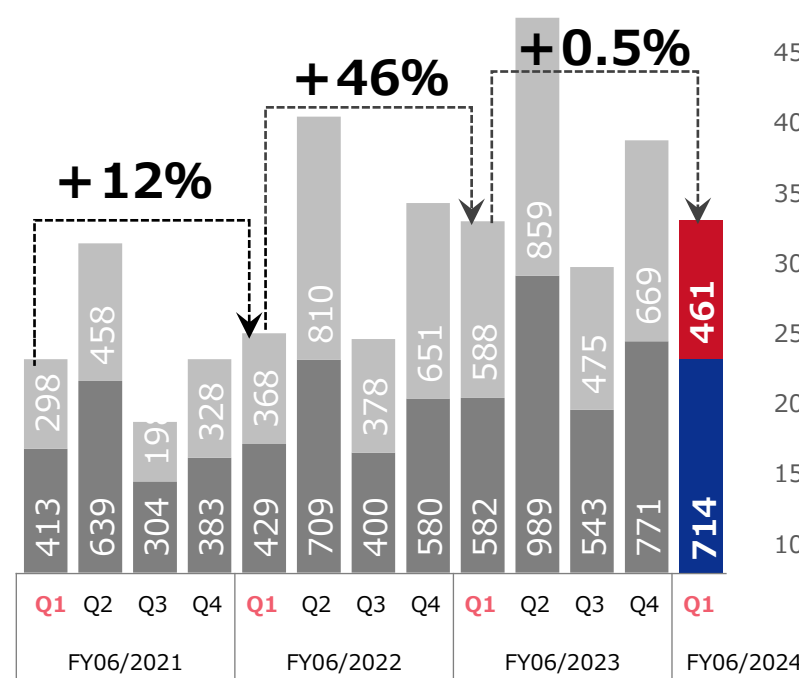
2. FY2024 Q1(2023年7月-9月)実績：セグメント別推移

	LABO運営	製品関連売上
売上	2,629 百万円 (+19.3% YoY) ✓来店台数 +23.0% YoY ✓平均単価 -3.0% YoY ✓一時的な売上減少により、売上総利益が105百万円減少 (詳細はp.7)	2,132 百万円 (+34.5% YoY) ✓TVCMが貢献し、PRO SHOPのフレッシュキーパーが好調 ✓新車マーケットでは、特にホンダの伸びが顕著。三菱への採用が開始
営業利益	461 百万円 (-21.4% YoY) 最需要期の12月および新店オープンに備えた先行投資として、販管費が+37.6% YoY増加	714 百万円 (+22.7% YoY) 販管費は+42.0%増加したが、高単価コーティング製品の増加により、収益性は高く推移

»売上高の推移



»営業利益の推移

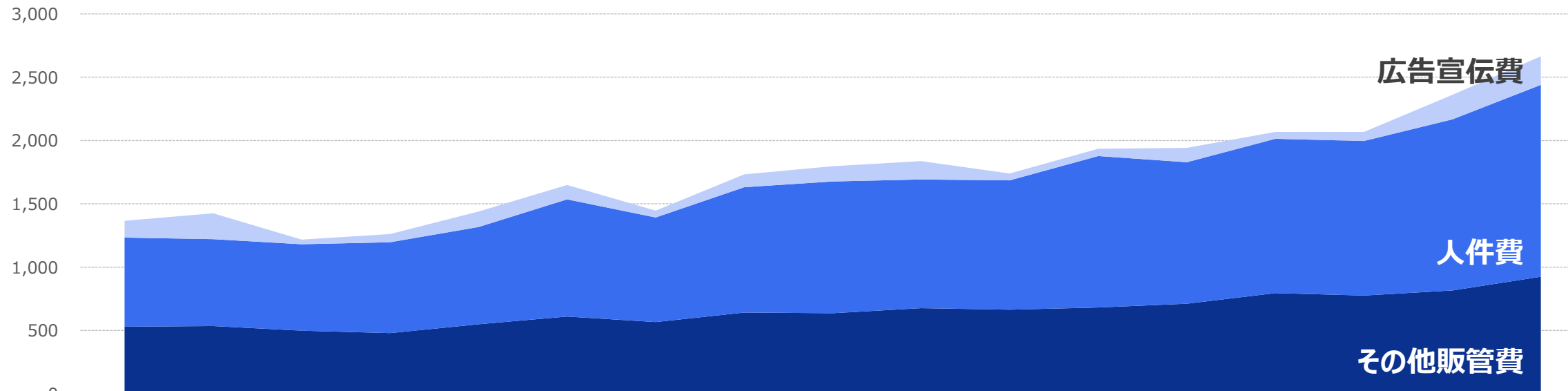


»営業利益率の推移



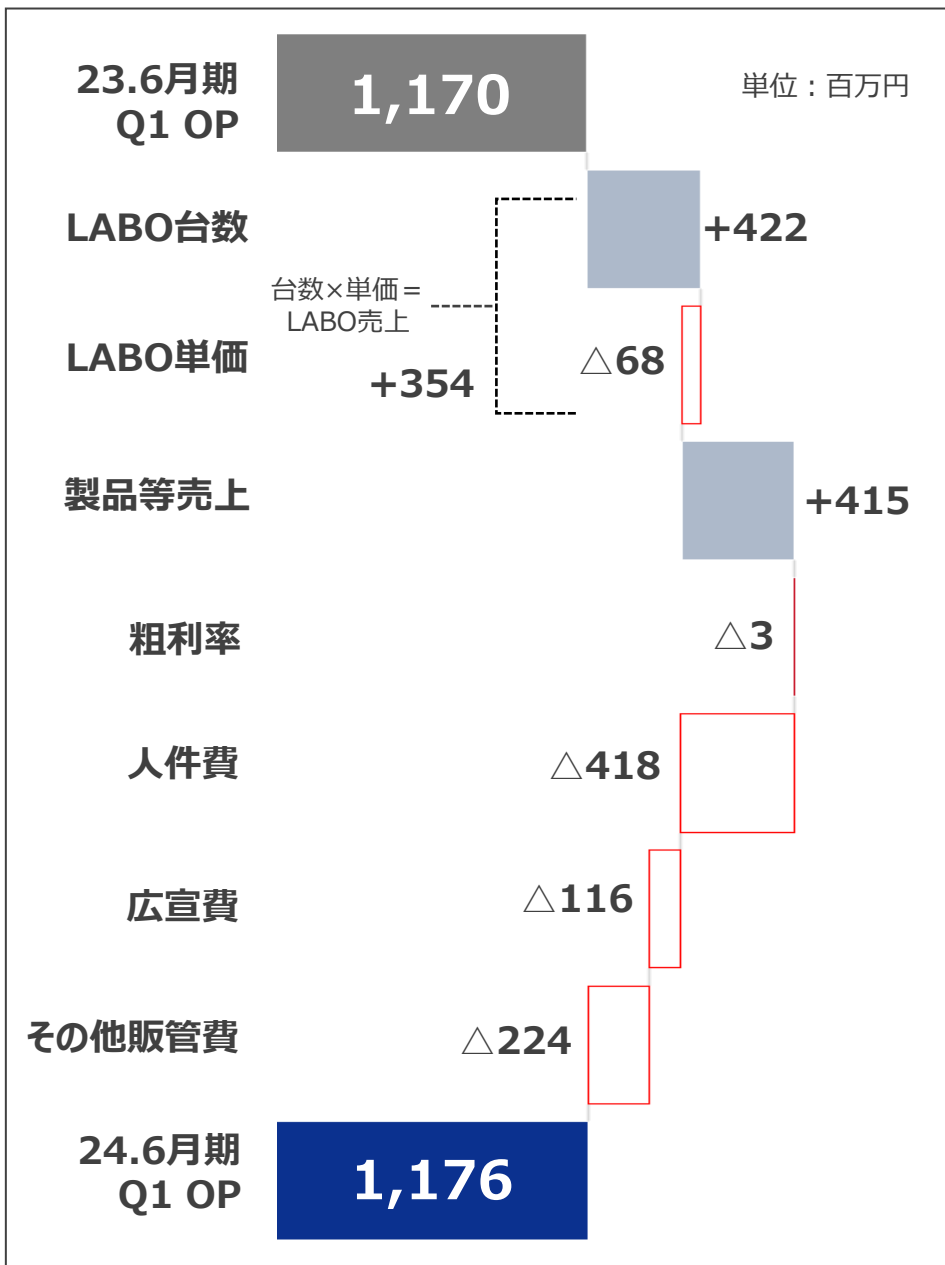
3. 販管費推移と内訳

- » 従業員増加やベースアップに伴い、人件費が顕著に増加するも、売上高人件費比率は常に30%前後をキープ
- » 広告宣伝費は、今年4月より開始したTVCMにより増加、新規顧客獲得のための広告宣伝を継続



単位：百万円	FY06/2020				FY06/2021				FY06/2022				FY06/2023				FY06/2024
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
広告宣伝費	134	204	36	65	121	114	54	102	121	145	54	57	114	55	71	193	230
前年増減比	28.8%	161.5%	-30.8%	-36.9%	-9.7%	-44.1%	50.0%	56.9%	0.0%	27.2%	0.0%	-44.1%	-5.8%	-62.1%	31.5%	238.6%	101.8%
売上高広宣費比率	5.9%	7.9%	2.0%	3.1%	4.5%	3.3%	2.2%	3.3%	3.7%	3.6%	1.7%	1.4%	3.0%	1.2%	1.9%	4.1%	4.8%
人件費	703	685	682	718	769	925	826	989	1,039	1,017	1,022	1,196	1,117	1,218	1,221	1,352	1,535
前年増減比	13.4%	7.4%	8.8%	6.4%	9.4%	35.0%	21.1%	37.7%	35.1%	9.9%	23.7%	20.9%	7.5%	19.8%	19.5%	13.0%	37.4%
売上高人件費比率	31.2%	26.6%	38.8%	34.0%	28.3%	26.4%	33.8%	31.6%	31.9%	25.2%	32.8%	30.4%	29.5%	25.5%	32.2%	28.9%	32.2%
その他販管費	530	536	499	479	549	610	567	642	637	676	664	682	711	795	776	816	936
前年増減比	6.6%	1.9%	1.2%	-5.9%	3.6%	13.8%	13.6%	34.0%	16.0%	10.8%	17.1%	6.2%	11.6%	17.6%	16.9%	19.6%	32.2%
売上高その他比率	23.5%	20.8%	28.4%	22.7%	20.2%	17.4%	23.2%	20.5%	19.5%	16.7%	21.3%	17.3%	18.8%	16.6%	20.4%	17.4%	19.7%
販管費合計	1,367	1,425	1,217	1,262	1,439	1,649	1,447	1,733	1,797	1,838	1,740	1,935	1,943	2,068	2,068	2,361	2,703
前年増減比	12.0%	14.7%	3.8%	-1.9%	5.3%	15.7%	18.9%	37.3%	24.9%	11.5%	20.2%	11.7%	8.1%	12.5%	18.9%	22.0%	39.0%
売上高販管費率	60.6%	55.3%	69.3%	59.8%	52.9%	47.0%	59.3%	55.3%	55.1%	45.5%	55.8%	49.1%	51.3%	43.3%	54.5%	50.4%	56.8%

4. 営業利益の増減益要因分析：対前年比



売上は増収となったが、12月の最需要期に向けた先行投資やTVCMの継続放映により一時的に販管費が増大

売上・粗利率要因……………+7.69億円

⇒売上増加：LABO、製品関連セグメントともに増収

⇒単価：9月からの洗車値上げにより、洗車単価および洗車台数が増加し、洗車比率が増加

販管費要因……………+7.6億円

⇒人件費：+4.18億円

↳うち人員増に伴う人件費：+3.02億円

↳うちベースアップの人件費：+1.16億円

⇒広告宣伝費：+1.16億円

↳TVCMの放映費用：+1.07億円

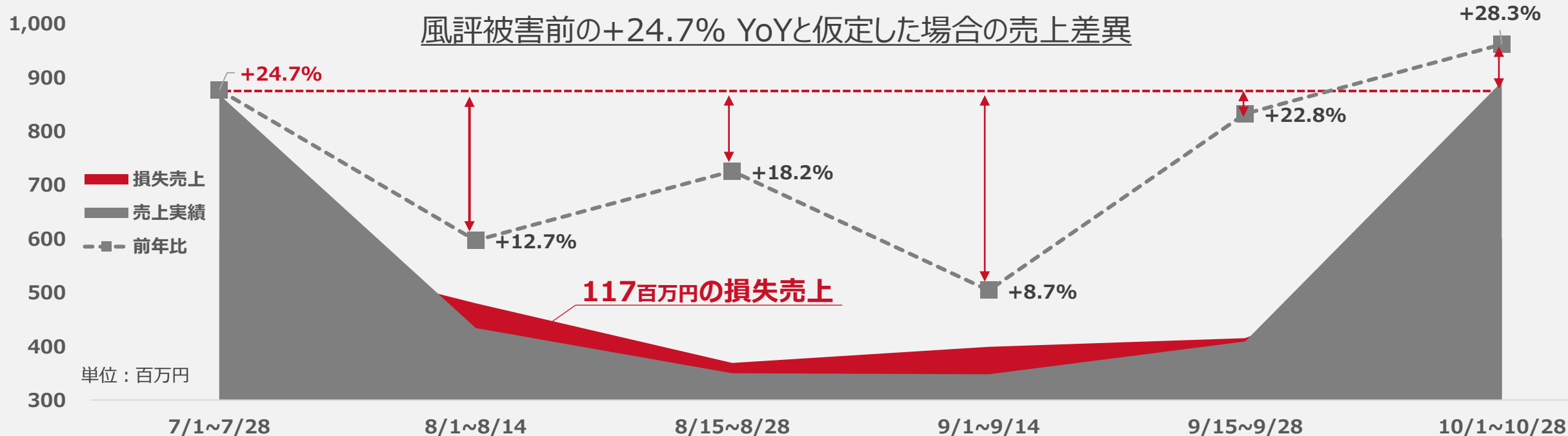
⇒その他販管費：+2.24億円

↳新店に関する地代家賃や減価償却費など：+0.82億円

↳旅費交通費：+0.32億円

4. LABO運営の営業利益減益の要因分析

新店オープンを見据えて大幅な人的投資を行ったが、8-9月の売上一時的に鈍化し、LABOの営業利益は減益



前期Q1人員数
809人

今期Q1人員数
1,053人

人員増による人件費増 (302百万円) + 賃金ベースアップ (116百万円)

売上好調

BM社に関連した風評被害

洗車値上げによる増収

7月は好調なスタートを切る事ができたが、8月から9月半ばまで「ダイヤモンドキーパー」シリーズの施工台数が減少するという変調が見られた。BM社が取り扱っていた「ダイヤモンドコート」と名称が類似していたことが要因であると推察しており、特に東京、横浜、大阪の店舗で顕著に売上が減少。この影響による売上総利益の減少は105百万円と推定。

9月からの洗車値上げで洗車増収37百万円となりベースアップのうち9月分相当額の42百万円を概ね相殺。一方、7月と8月分のベースアップ相当額74百万円はそのままコスト増に。

新規出店

2023年8月9日オープン

キーパーラボ府中店 直営:107店舗目 直営+FC:120店舗目



■東京都内15店舗目。
主要幹線道路である甲州街道に面した店舗。都内で4番目に人口が多い(約26万人)濃いマーケットに加えて、既存の三鷹店や小平店とのドミナントも形成でき、早い認知が期待できる。

建設地	店舗跡地(居抜き)
店舗面積	461.58 m ²
コーティングブース	8台
洗い場・仕上げ場	3台

所在地：東京都府中市緑町1丁目10-1

2023年9月29日オープン

キーパーラボ平野店 直営:108店舗目 直営+FC:121店舗目



■大阪府内6店舗目。
国道309号線に面した店舗で、大阪市内で1番の人口(約19万人)の濃いマーケットに位置するため、高い認知が期待できる。

建設地	コインP跡地
店舗面積	427.09 m ²
コーティングブース	7台
洗い場・仕上げ場	3台

所在地：大阪府大阪市平野区西脇2丁目2-15

所在地	店舗名(仮称)	オープン予定
岡山県岡山市	岡山店	2023年11月
愛知県北名古屋	西春店	2024年1月
埼玉県越谷市	越谷店	2024年1月
福岡県福岡市	福岡早良店	2024年1月
栃木県宇都宮市	宇都宮店	2024年2月
茨城県つくばみらい市	谷和原インター店	2024年3月
奈良県奈良市	奈良大安寺店	2024年3月
大阪府岸和田市	岸和田店	2024年3月
千葉県市川市	市川店	2024年4月
兵庫県神戸市	神戸西店	2024年4月
兵庫県神戸市	神戸北店	2024年4月
千葉県松戸市	新松戸東店	2024年5月
埼玉県上尾市	上尾店	2024年5月
大阪府堺市	境西店	2024年6月

オープン済：2店舗

オープン予定：14店舗

※オープン予定のうち1店舗は移転を含む

既存店改装

所在地	店舗名	既存ブース数	改装後ブース数	洗い場改修
広島県	福山店	3台	6台	4台
東京都	杉並店	4台	6台	
▼以下、今後の改装予定				
福島県	郡山店	6台	10台	3台
埼玉県	大宮店	4台	7台	3台
埼玉県	浦和美園店	3台	5台	3台
千葉県	市原店	3台	7台	
東京都	八王子店	6台	10台	
東京都	足立店	7台	12台	
神奈川県	横浜トレセン	6台	10台	
神奈川県	上溝店	3台	6台	
神奈川県	246玉川店	3台	6台	
愛知県	高針店	3台	5台	4台
愛知県	鳴海店	4台	8台	4台
愛知県	東郷店	4台	8台	3台
三重県	四日市店	3台	5台	
三重県	松阪店	2台	6台	3台
福井県	福井大和田店	4台	9台	4台
兵庫県	尼崎店	4台	7台	
福岡県	福岡春日店	3台	4台	4台

合計 **75台** **137台** **35台**

5. トピックII (ESG)

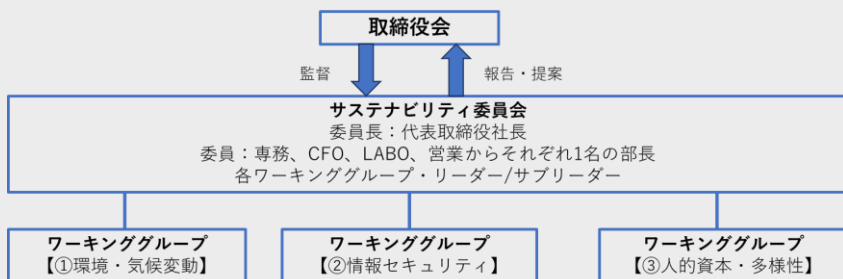
ESG開示を2023年内に予定

■ 当社の従業員数は1,000名を超え、さらなる人的資本体制の強化が必要です。また、これからの海外展開の観点では、環境を意識した経営も重要になってきます。これらを対外的に示すために、2023年内にコーポレートサイト上にESG開示を行う予定です。

■ 当社の取締役会体制は、当期より右の布陣で迎えており、**社外取締役比率を約50%**とすることで、より健全な経営体制の構築に努めております。

女性取締役比率は昨年から1名増加したことで、計2名の15%となりました。今後、取締役及び従業員の女性比率向上など組織の多様性を確保するべく、様々な施策を講じていきます。

▼サステナビリティ委員会体制



社外取締役比率46%(6/13名)、女性取締役比率15%(2/13名)

氏名	地位および担当	企業経営	店舗開発 運営	製品 技術開発	営業	会計 資本市場	マーケ ティング	ガバナンス	DX/IT	サステナ ビリティ
谷 好通	代表取締役会長 兼CEO	○	○	○		○	○	○		○
賀来 聡介	代表取締役社長 兼Co-COO	○	○		○	○	○	○		○
鈴置 力親	専務取締役 兼Co-COO	○	○		○		○	○		○
山下 文子	常務取締役 CFO	○				○	○	○		○
三浦 健典	取締役 営業統括部長				○		○			
野崎 佳介	取締役 キーパー-LABO 事業部統括部長		○				○			
増田 貴志	取締役 製品部長 兼CTO			○	○					
大島 もえ	社外取締役									○
齋藤 良介	社外取締役						○			○
水島 正	社外取締役 (監査等委員)	○				○		○		○
武藤 敬	社外取締役 (監査等委員)			○						○
松原 佳弘	社外取締役 (監査等委員)	○		○				○		○
河野 文雄	社外取締役 (監査等委員)	○				○		○	○	

補足資料

FY06/2023
総資産 15,079 百万円

Q1 FY2024
総資産 14,392 百万円

有利子負債 160

有利子負債 148

現預金 3,573 売掛金 1,356 商品 1,163 その他流動資産 583 固定資産 8,404 単位：百万円	賞与・退職給付引当金 481 その他負債 3,287 純資産 11,151
---	---

現預金 2,682 売掛金 1,390 商品 1,085 その他流動資産 534 固定資産 8,700 単位：百万円	賞与・退職給付引当金 694 その他負債 2,773 純資産 10,776
---	---

Q1で法人税を支払ったため、未払法人税および現預金が減少し、B/Sが縮小

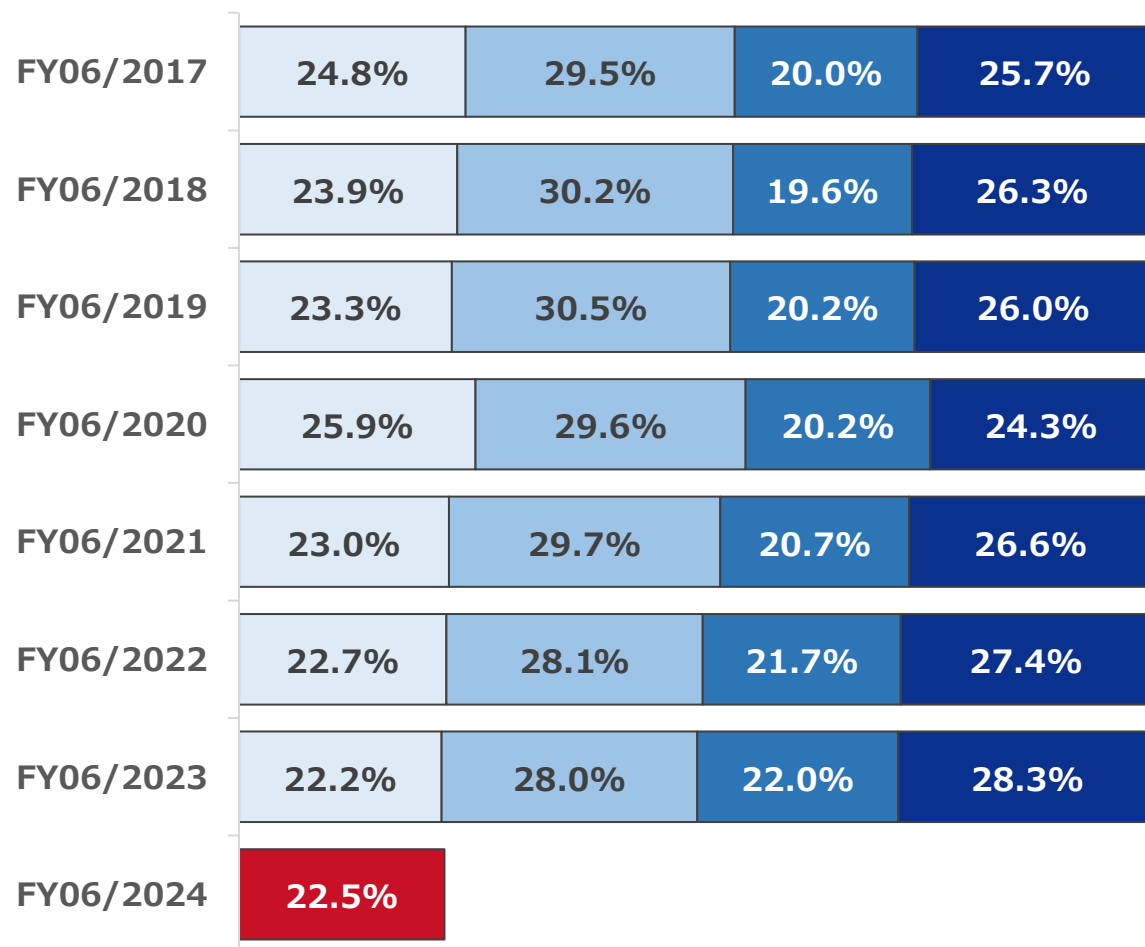
BPS 395円

PBR 14.75倍

EPS 29.2円

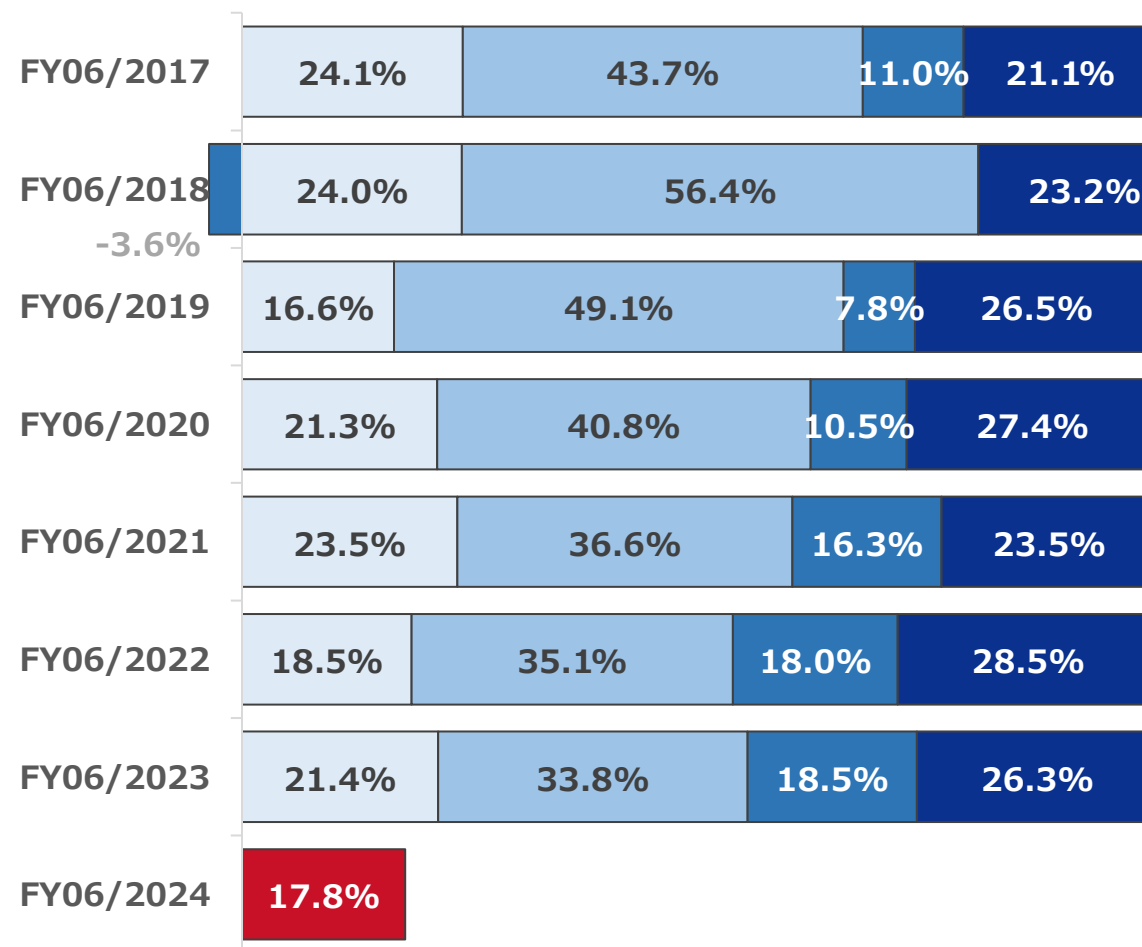
自己資本比率 74.9%

»売上高構成比



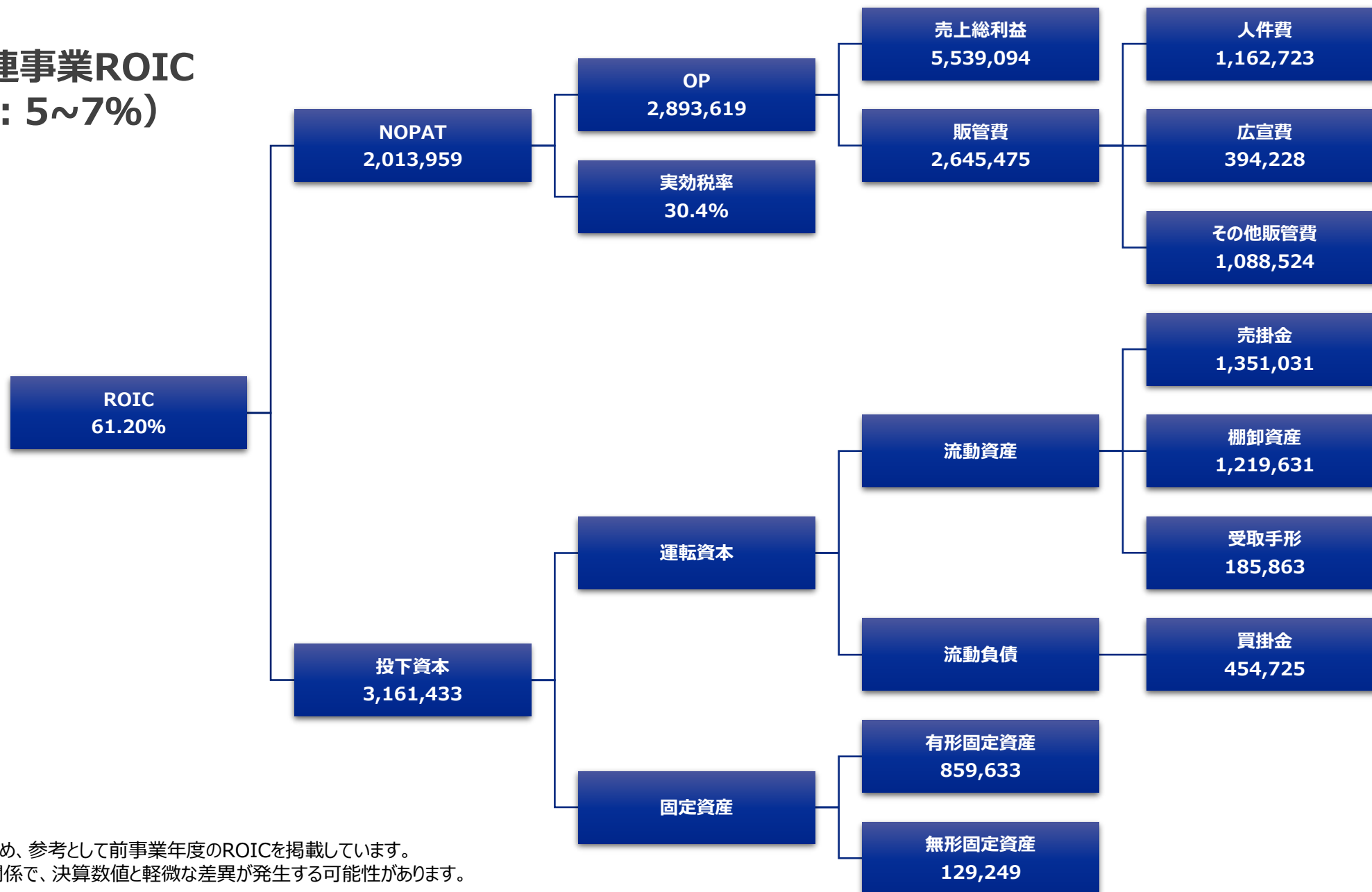
□ Q1 □ Q2 ■ Q3 ■ Q4

»営業利益構成比



□ Q1 □ Q2 ■ Q3 ■ Q4

■ 製品関連事業ROIC
(WACC : 5~7%)

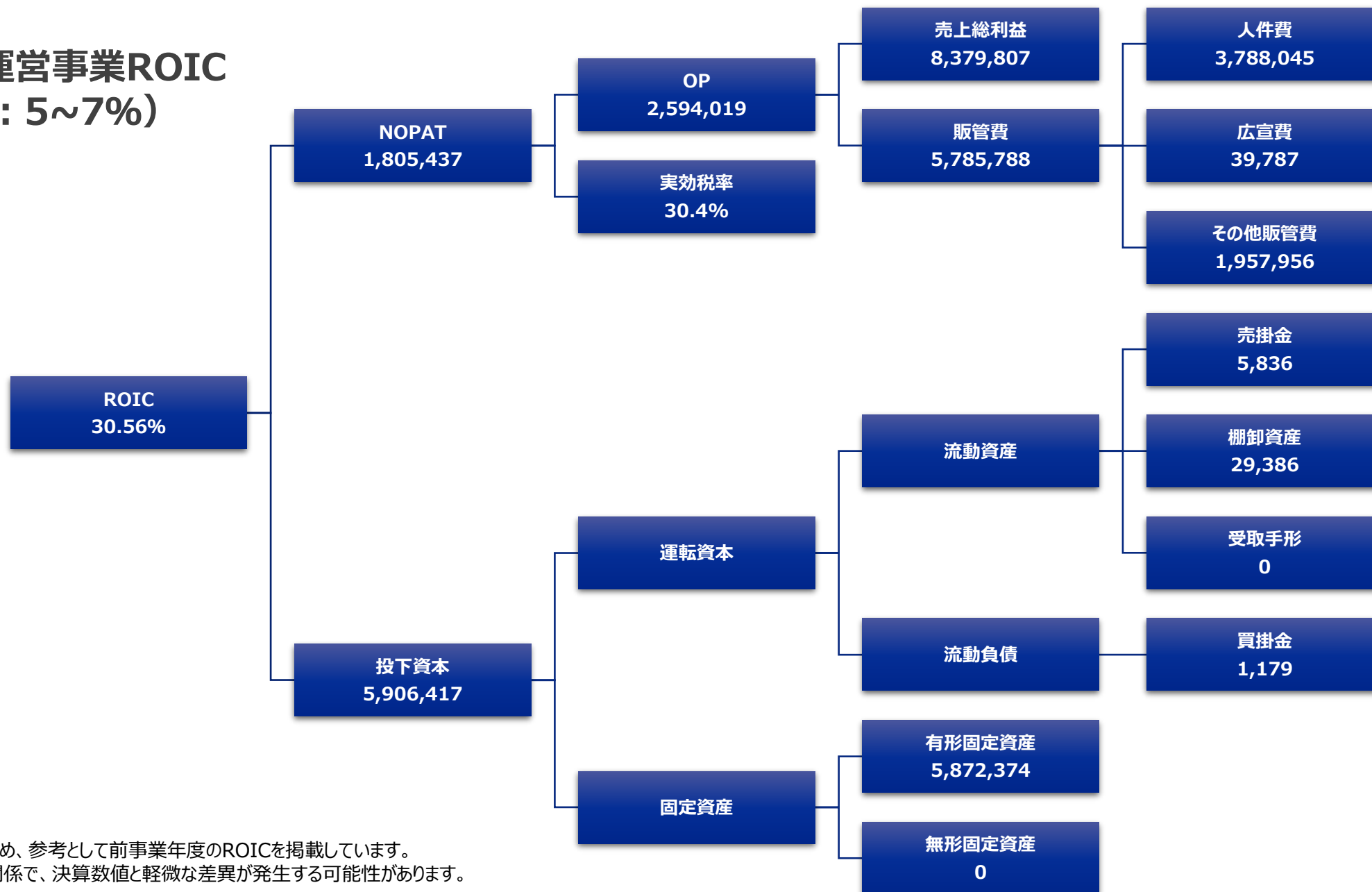


単位：千円

※ 第1四半期のため、参考として前事業年度のROICを掲載しています。

※ 決算調整等の関係で、決算数値と軽微な差異が発生する可能性があります。

■ LABO運営事業ROIC
(WACC : 5~7%)



単位：千円

※ 第1四半期のため、参考として前事業年度のROICを掲載しています。

※ 決算調整等の関係で、決算数値と軽微な差異が発生する可能性があります。

本資料における注意事項

- 本資料は投資家の皆さまの参考に資するよう、弊社の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料には弊社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されます。
- これら、将来の見通しに関する記述は、将来に関する事象や現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。
- 様々な原因により、実際の実績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

IRについてのお問い合わせ先： KeePer技研株式会社

TEL : 0562-45-5777

e-mail : ir@itacgiken.co.jp